

小規模企業景気動向調査

[平成27年5月期調査]

～緩やかながらも回復の動きが続いた小規模企業景況～

2015年6月24日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2015年5月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…緩やかながらも回復の動きが続いた小規模企業景況…◇

5月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)はわずかに改善となった。項目別に見ると、売上額DIはわずかに悪化、採算DIはわずかに改善、資金繰りDIは不変となった。業況DIは4ヶ月連続の改善となったが、経営指導員からは、①景気回復の動きが見られるのは少数であり、多くは先行き不透明である、②増税以降、消費の低迷が長期化しているなどの報告もあった。

<製造業> ◇…機械・金属関連や自動車関連の受注安定などによりわずかに改善した製造業…◇

製造業の業況DIは、わずかに改善となった。項目別に見ると、売上額DIはわずかに悪化、採算DIは小幅改善、資金繰りDIは不変となった。経営指導員から、好転材料として、①機械・金属関連や自動車関連などで、受注が安定しており、売上も増加傾向にある、②一部の食品関連で、新たな販路の確保や新商品開発により好調などの報告があった。また、悪化材料としては、①原材料や電気料金が高止まりしている、②水産加工関連で、原料不足により稼働率に影響が出ているなどの報告があった。

<建設業> ◇…資材価格の上昇と人手不足に加え、公共工事の減少もあり悪化が続いた建設業…◇

建設業の業況DIは、わずかに悪化となった。項目別に見ると、売上額DIおよび資金繰りDIは若干悪化、採算DIは小幅悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①資材価格の上昇と人材不足により、採算が悪化している、②公共工事関連で、昨年度に比べると受注が減少しているなどの報告があった。また、好転材料としては、一部の地域で、自治体の補助制度により、リフォーム工事が増加しているなどの報告があった。

<小売業> ◇…一部でプレミアム付き商品券の効果が徐々に現れるなど改善が続いた小売業…◇

小売業の業況DIは、小幅改善となった。項目別に見ると、売上額、採算、資金繰りDIも小幅改善となった。経営指導員から、好転材料として、①プレミアム付き商品券の効果で、ついで買いや来客数が増加した、②衣料品関連で、気温の上昇により夏物が早めに動いたなどの報告があった。また、悪化材料としては、消費増税の影響が未だに続いているうえ、天候不順で野菜の価格が高騰しているため、買い控えの傾向が見られるなどの報告があった。

<サービス業> ◇…理美容業やクリーニング業の停滞で横ばいとなったサービス業…◇

サービス業の業況DIは、不変となった。項目別に見ると、売上額、採算および資金繰りDIは小幅悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①理美容業で、顧客の来店頻度が低下し、売上が減少している、②クリーニング業で、冬物の動きがあり売上は伸びたものの、洗剤等の仕入価格上昇による影響を受けたなどの報告があった。また、好転材料としては、一部ではあるが、宿泊関連や飲食関連で、観光客の増加に伴い回復傾向にあるなどの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 12.8	▲ 13.8	▲ 1.0	▲ 2.3	▲ 3.3	▲ 1.0	▲ 7.6	▲ 9.2	▲ 1.6
採算	▲ 24.2	▲ 23.5	0.7	▲ 22.6	▲ 17.9	4.7	▲ 19.6	▲ 23.6	▲ 4.0
資金繰り	▲ 17.9	▲ 18.2	▲ 0.3	▲ 15.3	▲ 15.3	0.0	▲ 16.7	▲ 18.1	▲ 1.4
業況	▲ 22.2	▲ 21.6	0.6	▲ 17.3	▲ 16.5	0.8	▲ 14.5	▲ 15.6	▲ 1.1

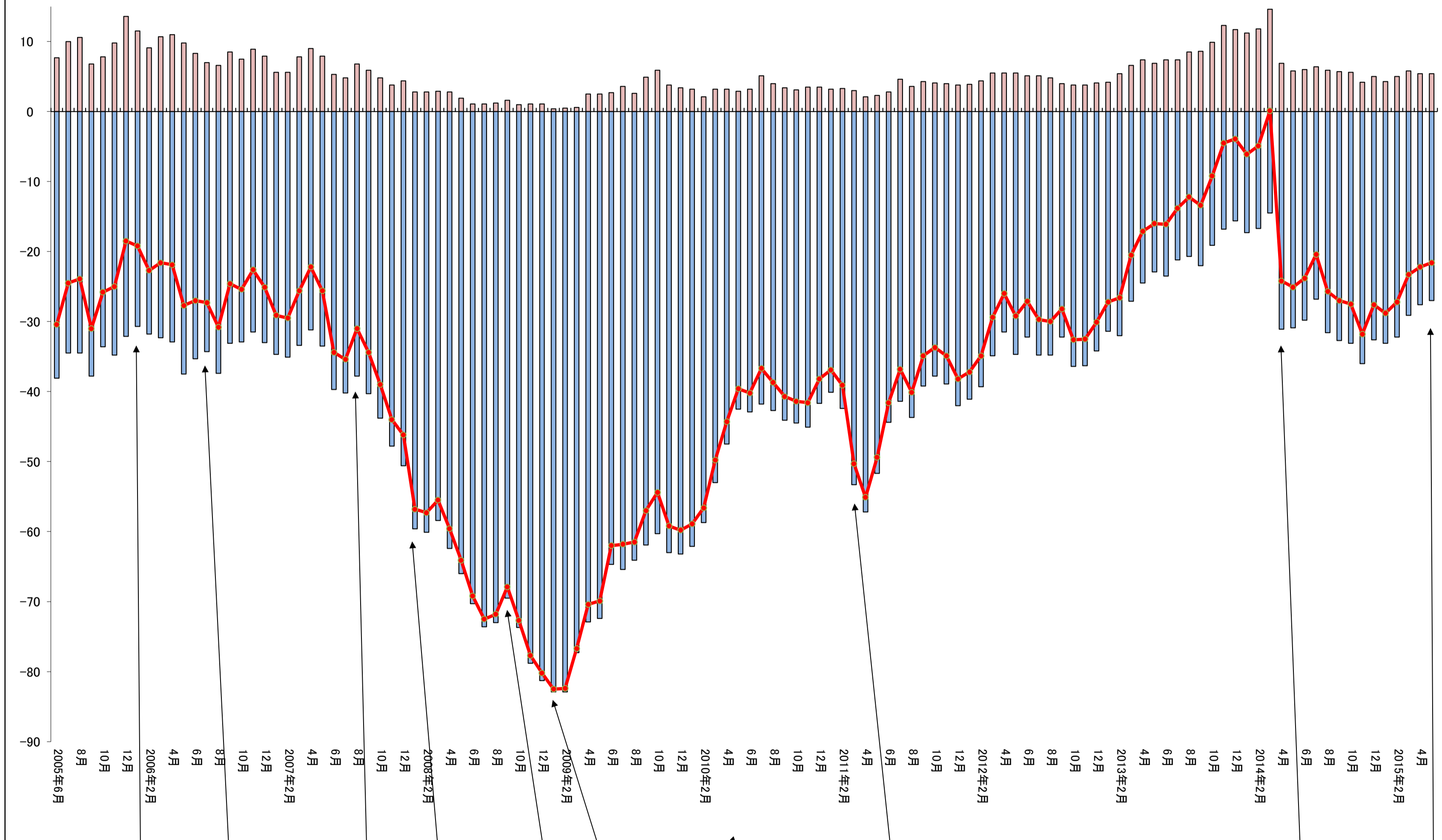
業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 26.6	▲ 23.6	3.0	▲ 14.8	▲ 18.8	▲ 4.0
採算	▲ 35.7	▲ 31.4	4.3	▲ 18.8	▲ 21.1	▲ 2.3
資金繰り	▲ 25.9	▲ 23.7	2.2	▲ 13.7	▲ 16.0	▲ 2.3
業況	▲ 36.3	▲ 34.1	2.2	▲ 20.6	▲ 20.2	0.4

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



06年01月16日
ライブドア強制捜査

06年7月14日
日銀ゼロ金利政策解除

07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

15年/5月
-21.6

小規模企業景気動向調査(5月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・6月初旬に企業求人説明会を開催予定。昨年度の参加企業は33社であったが今年度は37社に増加。登録用紙の採用予定人数も見て昨年よりも採用予定が多くなっており、少なからず景気の回復傾向がうかがえる。学生の来場者数も増加することを期待。

(静岡県大須賀町商工会)

・設備投資の融資相談が多く、全体として景気回復基調にある。

(群馬県群馬伊勢崎商工会)

・建設業、飲食業等では一部業況の回復がみられるようである。店側から「最近業況が良くなった」という声が聞こえた。但し、店による。

(福岡県芦屋町商工会)

・海外(台湾等の東南アジア)からの観光客で、依然好調な状態が続いている

(富山県立山舟橋商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・消費税増税から1年が経過し、全体的には所得税・消費税ともに増額で、特に消費税については大半の事業所が倍に増え、税額納付等(滞納)が懸念されるなか、増税以降景気回復の鍵を握る消費の低迷が長期化していると思われる。

(鹿児島県南大隅町商工会)

・前年同期に比べ売上を伸ばしている業種は多いが、仕入単価の上昇が上回り、資金繰りが厳しい。消費税増税もあり、価格を上げられないのが現状である。

(長野県箕輪町商工会)

・一部の業種に景気回復は見られるが、多くは先行きが見えない状況。

(山形県朝日町商工会)

・特に大きな変化はないが、どの業界においても好転とはいえない状況にある。

(兵庫県多可町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・機械部品関連の製造業では、小ロットではあるが受注量も安定しており、若干ではあるが売上も増加傾向がみられる。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・自動車関連の製造業は去年のリコール問題などにより下がった売り上げが回復。

(長野県戸倉上山田商工会)

・金属加工関連の下請け製造業は昨年度に比べ安定した売り上げを計上している。

(鹿児島県南九州市商工会)

・食料品関連の製造業は、新たな販路が確保でき、売り上げが上昇した。

(静岡県岡部町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・下請けについては、加工単価の上昇難で、依然として厳しい状況が続いている。

(福井県越前町商工会)

・小麦やバター等の原材料の高騰が価格になかなか反映させられず苦慮している(食料品製造業)。一部大企業に値上げの動きがあり、値上げに対する理解が広がれば徐々に転嫁していきたいとの事。

(宮城県栗原南部商工会)

・水産加工物に関する製造業は、仕入値や原価の高騰、または原材料の不足などがあり、景気が好転しているとはいえない状況である。

(千葉県鋸南町商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・建築関連の建設業は、住宅リフォーム助成制度事業により、小規模のリフォーム工事が増えている。

(北海道乙部町商工会)

・住宅関連や設備投資などの工事に持ち直しの動きが見られる。

(埼玉県鳩山町商工会)

・建設業は年内の受注を確保した業者もあるなど比較的好調。消費税10%を見越した引き合いが多いのではないかとみている。

(京都府与謝野町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・地域の中小企業を対象とした公共工事は件数・金額ともに少なく、燃料費も上昇傾向にあり厳しい状況。建築業も材料費、燃料費の上昇があって、好材料がない。
(山梨県笛吹市商工会)
- ・夏に向けた資金繰りの相談がある。仕入価格の上昇や人材不足など業況は厳しい。
(大分県宇佐両院商工会)
- ・公共工事等、工事量が減少。建設業では、県工事等いくらかの工事あるも、多くの事業者にまで仕事が波及していない。今後の工事量の減少が懸念される。
(島根県雲南市商工会)
- ・昨年に比べ受注高は上昇しているが、材料費や人件費の高騰に追いついていけない。人手不足も重要な課題である。
(茨城県大子町商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

- ・4月に販売されたプレミアム商品券の利用もあり現時点では好転の状況にある。
(鳥取県八頭町商工会)
- ・地域内でプレミアム商品券を発行したことが原因で、化粧品・エステを中心に久しぶりのお客様も来店していただいている状況。
(奈良県田原本町商工会)
- ・5月半ばから真夏日が数日あり、全般的に気温が上がった。この影響で夏物衣料が早めに売れ始めた。
(富山県射水市商工会)
- ・衣料品小売業では、催しごとの開催で売り上げがやや上昇した。
食料品小売業では、プレミアム商品券利用の際、額面以上にするためのついで買いにより売り上げが上昇した。
電気製品小売業では、売り出しに併せてプレミアム商品券の利用を案内したところ、割安感から大型商品の売上が上昇した。
(岡山県備前東商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・食料品小売業は野菜が高騰し、消費増税とのダブルパンチで消費者の買い控えが顕著である。
(岐阜県大垣市墨俣商工会)
- ・消費増税が未だに影響し、小売業全般で売上、採算、資金繰りなどがやや悪化している。
(群馬県榛東村商工会)
- ・消費流出やネット販売などにより、依然として厳しい状況である。資金繰りに困窮する事業所も多々ある。
(大分県九重町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

- ・観光客の増加に伴い、宿泊業や飲食業が回復傾向にある。
(長崎県松浦市福鷹商工会)
- ・理容のサービス業は、安価と早さを求める客ではなく、カットの技術力の高さや雰囲気を求める客であれば、広域から集客ができるため、HPの活用が有効となっており、利益額は順調に推移している。
(岐阜県山県市商工会)
- ・観光関連業はゴールデンウィークが比較的好天に恵まれたため、昨年よりも誘客が増加傾向だった。
(石川県富来商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・宿泊業は、前年と異なり工事関係者の利用少なく売上は減少傾向。
(北海道小平町商工会)
- ・理美容業は事業主の高齢化や安価なチェーン店の出店、市外への顧客の流出により厳しい状況であることに変わらない。
(佐賀県多久市商工会)
- ・クリーニング業では、自分でクリーニングできる衣服が増えて顧客が若干減少している。
理美容関係では、固定客の来店ペースが長期化し、売上が若干減少している。
(愛知県長久手市商工会)
- ・旅館関連のサービス業は、GWが長かったが満室になるのは後半だけであった。GW明けも例年並み。
洗濯関連のサービス業は、燃料費の値下がりにより若干収益改善したが、取引先の要望に応えるために資材購入等経費が膨らんでいる。
理美容関連のサービス業は、激安店に流れるお客さんもいるが、逆に戻ってくるお客さんもあり、顧客数は微減。材料代の価格転嫁が難しく、利益確保に苦戦している。
(鳥取県中部商工会産業支援センター)